

# 令和3年度 予算の概要

問合せ／行財政経営課 財政係 (☎ 27-8108)

宇佐市はこれまで「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」を目指し、全力を尽くしてきました。しかし、昨今の地方自治体を取り巻く環境は本格的な人口減少社会や大規模自然災害への対応、グローバル化、情報化推進など、大きな時代の変革期にあります。特に昨年来、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止と経済活動の活性化は喫緊の課題となっています。このような中「第二次宇佐市総合計画後期基本計画」や「第2期宇佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、着実に施策を実行するとともに、アフターコロナを見据え「集中から分散」「デジタル化」「脱炭素社会」など各種施策に取り組んでまいります。



## 新時代改革予算について

令和3年度は市長改選の年であり、当初予算は経常経費など必要最小限の経費を主とした骨格予算とし、以降の補正予算で政策的経費を肉付けするとともに、新型コロナウイルス感染症関連事業に係る予算の計上をしました。今回の肉付け予算については、第二次宇佐市総合計画後期基本計画に沿った施策に加え、脱炭素促進グリーン補助制度の創設をはじめ、子育て祝金制度や子ども医療費助成制度の対象を高校生までに拡大するとともに、電子決済やAI機能の導入、地域ICT化の推進などを「新時代改革予算」と位置づけ編成しました。

一方で、普通交付税の合併特例措置終了をはじめ、社会保障関連経費などの増加が見込まれることから、持続可能な財政運営を堅持するため、自主財源としてふるさと納税のより一層の確保に努めるとともに、事業規模の見直しや重点的に実施すべ

き施策を選択しながら、健全財政の枠組みを維持した予算としました。また、新型コロナウイルス感染症関連事業については、子育て世帯生活支援特別給付金の支給や新型コロナウイルス抗原検査センターの設置などに係る経費を予算に計上しました。

これらを踏まえた補正予算額は、19億7,180万円の増額で、骨格予算として編成した当初予算と合わせると309億3,180万円となり、令和2年度と比較すると7億7,020万円、2.4%の減額となっています。

歳入については、社会資本整備交付金などの国庫支出金および県支出金をはじめ、過疎債など交付税措置の有利な地方債を最大限活用するとともに、財政調整基金、公共施設整備基金からの繰入金などにより財源調整

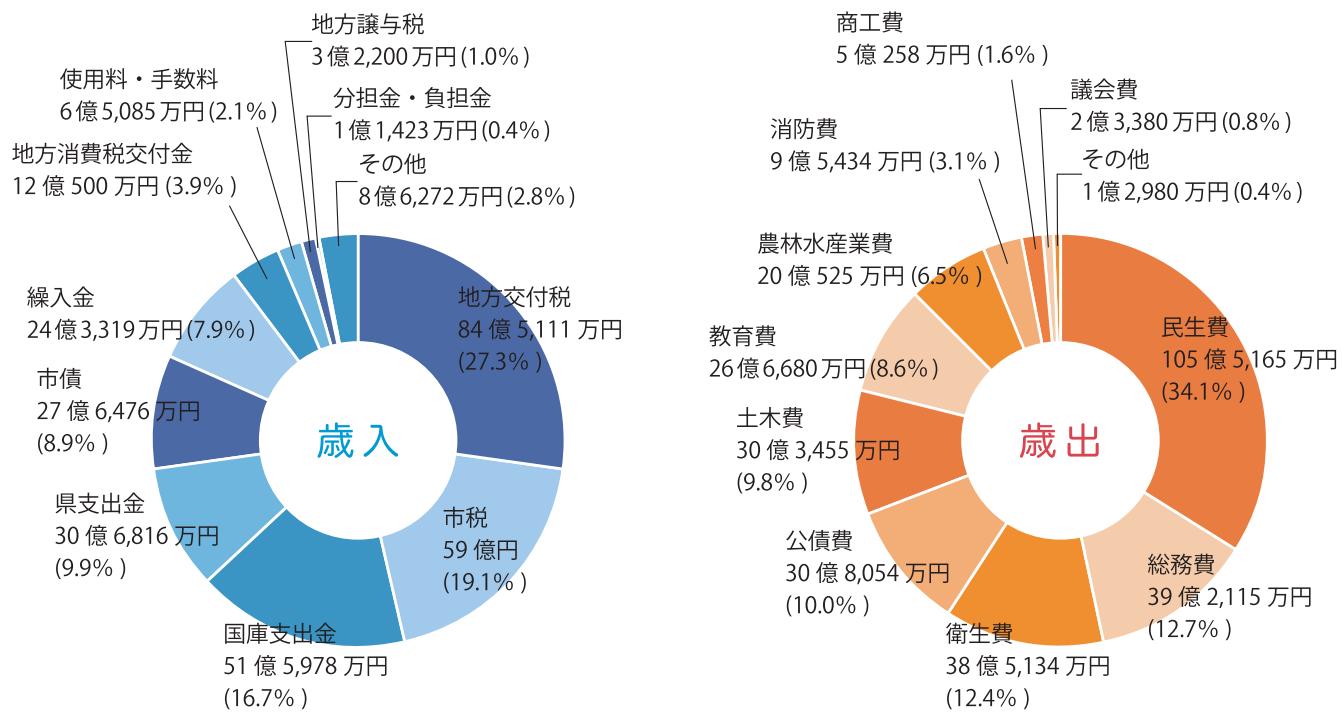
を図っています。



# 予算規模（6月補正後累計予算額）

一般会計

令和3年度予算額 309億3,180万円



特別会計

令和3年度予算額 145億2,800万円

## 会計区分

(前年度比)

国民健康保険	68億8,700万円	▲1.3%
介護保険	68億5,000万円	2.6%
後期高齢者医療	7億9,100万円	3.5%



# 令和3年度 主な事業

第二次宇佐市総合計画後期基本計画に沿った施策を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策や「新たな日常」の実現に向けたデジタル化の推進など、時代の要請に応じた新たな政策課題に対応するための主な施策についてご紹介します。



## 全力で市民の命と生活を守る

### 新庁舎建設事業

2億4,059万円

まちづくり拠点施設として完成した新庁舎に続いて、市民が集う交流の場「宇佐ひろば」や、利用しやすく災害や催しの時にも活用できる駐車場など外構工事を行います。



### 新型コロナウイルス検査体制強化事業

2,700万円

新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、抗原検査センターを設置し、検査体制の強化を図ります。



### 宇佐市関係人口創出事業

698万円

人口減少問題、地域づくりの担い手不足の解消などを目的として、将来的な移住につながる可能性が高い関係人口（定住や観光でもない地域と多様に関わる人々）の創出や拡大を図るため、就労支援事業などを行います。

### 防犯カメラ設置推進事業

290万円

安全で安心して暮らせるまちづくりの実現のため、地域の自主防犯活動として防犯カメラを設置する地域団体に対し、その設置費用の一部について補助を行います。

- ・公営住宅整備・ストック改善事業 3億7,790万円
- ・安心院地域複合支所建設事業 1億6,210万円
- ・道路メンテナンス事業 1億5,784万円

- ・子育て世帯生活支援特別給付金事業 1億0,060万円
- ・中小企業資金融資利子補助事業 3,724万円
- ・急傾斜地崩壊対策事業 3,370万円



# 全力で市民の夢と希望を創る

## 都市計画道路 上田四日市線整備事業

1億7,962万円

飽和状態の国道10号を補完する重要な路線として、市道USAフラー  
ロード2号線から市道八幡四日市線まで都市計画道路を新設し、快適な市  
街地環境の向上を図ります。

## 子ども医療費助成事業

1億6,192万円

子育て世帯の経済的負担の軽減により、疾病の早期発見と治療を促し、子ど  
もの保健の向上を図るために、医療費助成の対象を高校生まで拡充します。

## 国道沿線地域複合施設整備事業

1億4,340万円

宇佐インターから宇佐神宮や国東地域の世界農業遺産への通過点に休憩施  
設および物産館などを整備することで、観光や産業の振興を図ります。

## 地球温暖化対策事業

1,310万円

世界首長誓約に基づき、脱炭素社会の実現を目指して、持続可能なエネル  
ギーの利用推進、温室ガス排出量の削減などを行うため、気候エネルギー  
行動計画の策定など地球温暖化対策事業を展開します。



「道の駅」イメージ図

### ・社会資本整備総合交付金事業

2億3,016万円

### ・都市公園整備事業

1億0,840万円

### ・JR柳ヶ浦駅周辺整備事業

2億2,090万円

### ・企業誘致支援費

9,500万円

### ・放課後児童健全育成事業

2億0,235万円

### ・すくすく子育て祝金事業

7,834万円

## 新たな政策課題への挑戦

## 小中学校教育システム最適化事業

9,249万円

小中学校の教育システムを構築するとともに、ICT支援員を配置し、プ  
ログラミング教育などの情報活用能力の育成を図ります。



## デジタル市役所推進事業

599万円

行政サービスの利便性向上と職員の働き方改革を推進するため、業務のペー  
パーレス化などデジタル化推進を図ります（議事録作成システム・A I –  
O C Rの導入）。



## 外国人総合相談センター運営事業

941万円

市内に在住する外国人や外国人に関わる市民からの相談に対応できる体制  
を整えるとともに、相談センター主催の多文化共生推進イベントを実施し  
ます。



## 語学教室・文化交流活動支援事業

120万円

市内に在住する外国人に対し、日本の地域文化への理解や語学力の向上を  
目的として、講座などの開催に必要な経費の一部を助成します。

### ・デジタル教科書・副読本購入事業

1,227万円

### ・外国人労働者支援ネットワーク構築事業

61万円

### ・宇佐市地域ICT化推進事業

281万円

### ・多文化共生推進事業

60万円

### ・U I ターン者奨学金返還支援事業

234万円

